

平成18年度 決算報告書
(第3期)

国立大学法人鳥取大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,611	12,610	0	
施設整備費補助金	869	868	0	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	216	63	△ 152	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	52	52	—	
自己収入	16,437	17,725	1,287	
授業料、入学科及び検定料収入	3,665	3,587	△ 77	(注2)
附属病院収入	12,649	13,875	1,225	(注3)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	123	262	139	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,107	1,288	181	(注5)
長期借入金	128	127	0	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	206	—	△ 206	(注6)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	687	1,083	396	(注7)
計	32,313	33,821	1,507	
支出				
業務費	23,826	24,419	592	
教育研究経費	12,741	11,711	△ 1,030	(注8)
診療経費	11,085	12,708	1,623	(注9)
一般管理費	3,306	3,347	42	(注10)
施設整備費	1,049	1,048	0	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	216	63	△ 152	(注1と同じ)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,107	1,228	122	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,603	2,603	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
国からの承継賠償金支払金	206	—	△ 206	(注6と同じ)
計	32,313	32,712	399	
収入-支出	—	1,108	1,108	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算額の計上区分誤りにより、予算金額に比して決算金額が152百万円少額となっています。
- (注2) 授業料、入学科及び検定料収入については、平成19年度入学者に係る授業料の前納額が少額であったことから、予算金額に比して決算金額が77百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、手術件数の増、平均在院日数の短縮による報酬単価のアップ、外来における検査及び画像診断の増等により予算金額に比して決算金額が1,225百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として研究関連収入、動物病院収入等の増収により予算金額に比して決算金額が139百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった民間等からの寄附金、受託・共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して181百万円決算金額が多額となっています。

- (注6) 承継剰余金については、訴訟等の結果が確定しなかったため、予算金額に比して決算金額が206百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより予算金額に比して決算金額が396百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制、退職手当の減等により予算金額に比して決算金額が1,030百万円少額となっています。
- (注9) 診療経費については、附属病院収入の増収に伴う経費、退職手当及び目的積立金取崩の増により予算金額に比して決算金額が1,623百万円多額となっています。
- (注10) 一般管理費については、目的積立金による修繕関係経費等の増により予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっています。
- (注11) (注5) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が122百万円多額となっています。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費、一般管理費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。

○記載金額の表示について

記載している決算額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。